

分割・民営化攻撃絶対粉砕

国鉄「分割・民営化」阻止ノ三里塚二期着工粉碎ノ

全員汗まみれになって この歴史的決戦をなちぬこ

（9/9）緊張と注目の中、

動労千葉が10回定期大会開幕

No.1

動労千葉第10回定期大会は9月9日、匝瑳郡・のさか望洋荘に、代議員・傍聴者・来賓多数を迎え開幕した。冒頭、中野委員長が「動労千葉千百名のストライキ決起によって壮大なゼネストを実現し、答申粉碎―中曽根の野望と対決する」との断固たる決意を明らかにした。中野委員長あいさつの決意あふれる戦闘宣言をうけ、大会は終始戦闘的雰囲気の中に進行している。

議長団に西本(代議員)、石幡(代議員)

大会は、代議員・傍聴の組合員で会場が一杯になる中で、13時、林特執の開会宣言ではじまった。

まず、吉岡特執から資格審査結果が報告され、大会の成立が宣言された後、議長団に選出された西本（鈍子支部）、石幡（幕張支部）両代議員を代表して西本議長から「厳しい情勢の中、激烈な討論を通して大会の成功をかちとろう」とのあいさつが行われ、役員選挙管理委員会設置、大会役員指名の後、スローガン案が提起された。

30万国鉄労働者の総決起めざし 単独スト辞さず決起しよう!

中野委員長あいさつ――
そして、全参加者、報道陣が注目する



千葉動労大会が始まる
千葉動労（中野委員長、千二百人の定期大会が九日、八日市場市内で開催した。冒頭あいさつに立った中野委員長は、「政府の考えている分割・民営化は、国鉄再建のためのものにはなっていない。実力闘争で闘い抜こう」と述べた。
大会は三日間の日程で行われるが、二日目の十日は執行部からの分割・民営化反対と成田空港二期工事阻止のため、十一月から来年度にかけて三波にわたるストを打つ②車両検査の周期の延期に反対し、運転保安確立をめざす、などの内容を盛り込んだ運動方針案が提案される。

大会速報

中、本部を代表して中野委員長が登壇した。

中野委員長は、「国鉄再建」を掲げた「7・26答申」が中曽根の戦争へむけた国家体制づくりのための、戦後政治の総決算をかけた国鉄労働運動解体攻撃であることも、自民党・財界一体となって国鉄を食いものにするものであることを具体的に暴き出した。そのうえで、「答申」が、去るも地獄、残るも地獄を強制するものである以上、国鉄労働者・家族は未来をかけて決起することを訴えた。

中野委員長は、中曽根・龍井・杉浦そしてその手先き「鉄労および動労」本部「草マル・松崎の一体となった攻撃に対し、今秋6・11ダイヤ改を10万人首切り合理化を許すか否かをかけた決戦として数波にわたるストライキをもって絶対に粉砕しぬことを提起し、「一年間全員が血まみれ汗まみれになってこの歴史的決戦を勝ちぬぎ、勝利の団結のもと来年度大会を開こう」と結び、全体の圧倒的拍手でこれを確認した。

各界より多くの来賓

清水県労連 本吉 国労千葉 事務局長 委員長

大会には多くの来賓の方々がかかけつけられた。

千葉県労連を代表して清水事務局長は、「動労千葉に対して中央から色々言ってくる人たちが居るか、動労千葉は県労連（裏面へ）」

を立派に支え牽引している優等生の組合だ。分割・民営化攻撃に対しても県労連の組織強化を図り、反撃の体制をつくっていききたい」とあいさつされた。

つづいて、国労、県交運を代表して本吉国労千葉地本委員長が、「コワ・26分割・民営化答申」は、赤字だからどうする……。という代物ではない。中曾根の陰謀であり、戦後政治の総決算をする。とするなら労働運動つぶしがあるのは明らかだ。国労、動労千葉を闘えない組合にし、絶評にも影響を与えることを狙っており、絶対に負けることはできない。当局の攻撃と果敢に闘うと同時に、具体性のない矛盾だらけの「答申」を具体的な闘いで形がい化させていかねばならない。五千万人署名運動を貫徹しよう」とあいさつされた。

座して倒れるより立って闘おう

—三里塚より、北原氏、島村氏、鈴木氏、

国鉄と同様に、成田用水Ⅱ二期着工攻撃と連日連夜の決戦を闘いぬいている三里塚現地より、反対同盟の北原事務局長、島村良助氏、鈴木幸司氏がかけつけられた。

北原事務局長は、「動労千葉の闘いは全国の労働者の注目をあびている。分割・民営化の嵐に対し、座して倒れるより立って闘うこと加求められている。中曾根の軍大化Ⅱ戦争への道の中で三里塚の闘いも正念場を迎えているが、『9.16』『10.20』に総決起する。動労千葉の三里塚への決起が全国の労働者を三里塚に結集させている。いよいよ決戦に起つ動労千葉の仲間の闘いを全国の人々の闘いで支え、なんとしても勝利させよう」と熱い連帯のあいさつをされた。

社会党県本部などに各級議員団

社会党県本部を代表して、上野健一衆院議員、国会議員団を代表して糸又八重子参院議員、県会議員団を代表して松本正二県議があいさつに立たれ、中曾根の政治反動と中央―地方議会の場で対決し、動労千葉と連帯して分割・民営化―一人の首切りも許さず闘っていく決意が述べられた。

全金本山労組・中野氏

はるばる仙台の地よりかけつけられた全金本山労組の中野書記次長は、「分割・民営化

10万人首切りに対決して闘う方針をつくり上げようとしている動労千葉に心から期待している。コ一人の首切りも許さない」を合言葉に叩きつけたが、本山闘争の勝利も汗と涙と血を流しながら切り拓いてきたものだ。闘う国鉄労働者と連帯して更に前進していきたい」と連帯と決意の表明がなされた。

OB会関川前委員長、中江船橋市議

動労千葉OB会を代表して関川前委員長は、「厳しい情勢の中、さらに組織を強化し闘ってほしい」と激励のあいさつをされた。中江昌夫船橋市議からは、議会活動の報告と「国鉄労働者の闘いを地域に拡げ定着させるために共に奮闘していく」決意がのべられた。

また千葉県労働金庫の代表から大会の成功を期待するとのあいさつをいただいた。

大会には全国から数多くの檄電・メッセーシが寄せられ、議運の大畑委員から紹介された。このあと議事は、西森執行委員から「一般経過報告」、中村特執から「労働協約・協定締結報告」、水野執行委員から「会計報告」、空岡会計監査員から「会計監査報告」が行われた。なお各報告に関する質疑討論は第二日目冒頭より行われる予定である。

成田支部の中島正行氏に組合表彰

第一日目議事の最後に「組合表彰」が行われ、永坪動労千葉の発展のために尽力された中島正行氏（成田支部）に対し、中野委員長から賞状と記念品が手渡され、全参加者の惜しみない拍手が送られた。

第一日目は17時半議事を終了、翌朝9時より第二日目の議事が開始される予定である。

(大会速報第一報おわり)

11月末にストの構え

国鉄労働者 分割・民営化に反対

国鉄労働者(中野委員長)は、組合員千人は国鉄の分割・民営化に反対する。11月末にストライキを構える方針を固め、9日から三日間の予定で市野都野米町の国鉄労働者の分割・民営化に反対する決議を行い、当局との雇用安定協定の切れる11月末を対して行く方針。

(毎日新聞より)